

台風19号の大雨における寒河江ダムの効果について

～ 寒河江ダムの下流河川で約0.5mの水位低減効果 ～

最上川ダム統合管理事務所管内では、台風19号の大雨により、平成26年10月14日、寒河江ダムにおいて防災操作（洪水調節）※を実施し、下流河川の水位低減に効果を発揮しました。

	最大流入量	ダムに貯めた量
・寒河江ダム	225m ³ /s	188m ³ /s

この防災操作により、寒河江ダムの下流河川で約0.5m、水位を低減させる効果があったものと推測されます。

数値は速報値であり、今後変わる可能性があります。

※防災操作（洪水調節）：川の増水を少なくするため、ダムに流れ込む水を貯めて川の水の量を減量している状態です。

【発表記者会：山形県政記者クラブ】

問い合わせ先

国土交通省 東北地方整備局 最上川ダム統合管理事務所
山形県西村山郡西川町大字砂子関158

副所長（技術） 高橋 長幸 （内線204）

調査課長 高橋 正志 （内線351）

電話 0237-75-2311（代表）

最上川水系 寒河江ダムの効果（平成26年10月14日 台風19号に伴う降雨）

○寒河江ダム上流域において、流域平均累加雨量は90mm、最大流入量は毎秒225立方メートルとなりました。
 ○ダム下流の西根地点（寒河江川下流基準地点）では、約0.5mの水位を低減させる効果があったものと推測されます。

